**《研究課題名》**
**統合失調症患者におけるL-セリン合成系に関連するアミノ酸の検討**

**《研究対象者》**
獨協医科大学附属病院において　2012 年 7 月 21 日～2018 年 5 月 31 日の間に、「精神疾患患者におけるL-セリン合成系とそれに関連するアミノ酸の検討」との表題の研究に協力された方

**研究協力のお願い**
滋賀医科大学において上記研究課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の滋賀医科大学で既に保有している試料・情報を用いて行う研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。試料・情報の使用について、直接ご説明して同意はいただかず、このお知らせをもって説明に代えさせていただきます。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。
なお、本研究への試料・情報の提供を希望されない場合、あるいは、本研究に関するご質問は下記（８）の問い合わせ先へご連絡ください。

**（１）研究の概要について**
**《研究課題名》**
**統合失調症患者におけるL-セリン合成系に関連するアミノ酸の検討**
**《研究期間》**　滋賀医科大学学長許可日～2027 年 3 月 31 日
**《研究責任者》**　滋賀医科大学　精神医学講座　尾関祐二

**（２）研究の意義、目的について**
**《意義》**
統合失調症の原因を探るとともに、将来の病気の克服や予防につながることが期待されます

**《目的》**
統合失調症における L-セリンの合成能力を調べるとともに、L-セリンと関連する物質の変化があるかどうかを調べます。

**（３）研究の方法について**
**《研究の内容》**
我々はこれまでの研究から統合失調症患者さんで、体の中での L-セリン（アミノ酸の一種）の合成に問題がある可能性があることを見つけています。そのためこれまで、獨協医科大学精神神経医学講座において、統合失調症患者さん及び、比較対象者としての健康な人に研究への協力をお願いして、採血を行い、血漿や DNA、病気に関する情報を得て、L-セリンを中心に、L-セリン生合成などに関連する 6 つの酵素やの遺伝子を調べるとともに、血漿中の L-セリンに関連する物質の濃度を測定し、臨床症状との関係などを比較検討してきました。この度、獨協医科大学で提供いただきました試料を滋賀医科大学も共同で上記の解析を行うこととなりました。また滋賀医科大学で行われている研究である「精神疾患の臨床症状に関連する血中マーカーの探索」（滋賀医科大学での整理番号 R2020-141）にも病気


©Shiga University of Medical Science Research Ethics Committee.

に関する情報、採血より得られた血漿、DNA を提供しまして、ナルディライジンというタンパク質の測定を行います。結果はご協力をいただきましたこの研究に加えて、更に提供をした研究「精神疾患の臨床症状に関連する血中マーカーの探索」（滋賀医科大学での整理番号 R2020-141）でも使用されます。

以上の様に、本研究は獨協医科大学精神神経医学講座と共同で行われます。

※獨協医科大学のご協力は 2022 年 4 月で終了いたしました。

また、研究においては採血した血液中に含まれるエクソソームを抽出して、その中に含まれる物質（上記と同じもの）の測定を行いますが、抽出したエクソソームの質を評価するための平均直径、濃度測定につきましては、株式会社 Egret･Lab（所在地：徳島県徳島市人万町大坪 191 番地 1、代表者：代表取締役 矢野 慎一）に依頼します。依頼の際には血液の成分を匿名化して、誰のものかわからないように匿名化して提供するなど、安全管理措置を含む監督をしっかりと行います。検体は郵送で企業に提供します。

**《利用する試料・情報の項目》**

DNA、血漿、臨床情報（年齢、性別、診断、初発年齢、罹病期間、内服内容、臨床症状）

**《試料・情報の提供方法》**

検体は郵送、臨床情報は外付けハードディスクに情報を記憶させ、手渡しで提供を受けます。

**《試料・情報を利用する者の範囲》**

滋賀医科大学　精神医学講座　尾関祐二　及び倫理委員会で承認を受けた研究者

~~獨協医科大学　精神神経医学講座　下田和孝　及び倫理委員会で承認を受けた研究者~~

※獨協医科大学は 2022 年 4 月まで。

**《試料・情報の管理について責任を有する者》**

滋賀医科大学　精神医学講座　尾関祐二

**（４）個人情報の取扱いについて**

本研究を実施する際には、個人を特定できる情報は削除したり関わりのない記述等に置き換えたりして、ご提供いただいた試料・情報が誰のものか分からない状態にして獨協医科大学より提供されます。必要な場合に個人を特定できるように、対象となる方とその方の試料･情報を結び付けることができる対応表が獨協医科大学で作成され保管されています。この対応表は施錠できる場所で担当者によって厳重に管理されます。

**（５）研究成果の公表について**

本研究の成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。公表の際には個人が特定されることがないよう、十分配慮いたします。

**（６）研究計画書等の入手又は閲覧**

本研究の対象となる方又はその代理人の方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧するこ


©Shiga University of Medical Science Research Ethics Committee.

とができます。ご希望の場合には、下記（８）の問い合わせ先へご連絡ください。

**（７）本研究に関する問い合わせ先**

**担当者**：滋賀医科大学　精神医学講座　　氏名　尾関祐二
**住所**：520-2192　滋賀県大津市瀬田月輪町
**電話番号**： 077-548-2291　**メールアドレス**： hqpsybelle.shiga-med.ac.jp


©Shiga University of Medical Science Research Ethics Committee.